

◆自由記述

人権問題についてのご意見・ご感想などを自由にご記入ください。

市の人権施策の推進などについて、意見や要望が多くの方から寄せられました。
ここでは、意見や要望を調査のテーマに沿って大別し、その一部を掲載しました。
掲載は順不同です。

なお、1人の記述が複数の内容にわたる場合には、内容の趣旨が損なわれないように記述を分け、それぞれの各項目に分類しました。

多くの貴重なご意見、ご要望等ありがとうございました。

自由記述（子どもの人権）

子どもの時に人に対する思いやりの心を育てること。

70歳代・男性

人権について学校教育を充実させる必要がある。

60歳代・男性

退職前、自分は教職に就いていた関係もあり、教育の現実の問題は気になるところです。いじめや人権意識はまさに義務教育課程の中で、構築されるべきもっとも大事な意識です。人間としての在り方、生き方、人との接し方等々、まさに教育基本法の基本中の基本である「人格の形成」に尽きます。

多くの市民を対象とした人権教育など、日々の生活の困難さと大変さを考えれば、それがいかに現実離れし、無用なものか火を見るよりも明らかではないでしょうか。ゆえに、学ぶべき時期つまり義務教育の本質として、この時期にこそ他を尊重し、品格あふれる生き方を学ばせることが人権教育の最も効果的な道筋であると考えます。

60歳代・男性

人権を守ることは非常に難しいことかもしれませんが、個人個人がこの問題を考えること、全て教育に起因すると思います。子どもの頃から学校教育、家庭における家庭教育を通して人間としてあるべき姿を子どもの頃から教えることが必要だと思います。

- ①学校教育において、人権を教えることによって「いじめ」問題にもつながり、先生対生徒で考える時間が必要か？
- ②家庭教育においても父母の教えが必要。
- ③社会においても、子どもと大人の関係を大人が子どもに教えながら人に対するやさしさを教えることが必要かと思います。

70歳代・男性

問 41 に集約されていると思いました。子どもの時の教育が大切ですね。親や教師の資質が重要です。

70 歳代・男性

幼少の頃から教育、特にいじめに関するものが全ての人権の基礎になると思う。事なかれ主義の現況を改革し、いじめは必ず存在する（人権問題は必ず存在する）ことを前提にした教育環境を整えることが必要だと思う。

40 歳代・男性

家庭内児童虐待、ニュースなどを見て心が痛みます。今の世の中に多いと思います。野田市内でも虐待や暴力を徹底して排除してほしい。言葉の暴力も多い。子どもは親を頼るしかないから虐待の事実を隠すと思う。対策を徹底してほしい。

30 歳代・女性

学校教育（小学校から始める）を充実させることが正しい知識が得られるので重要と思う。

60 歳代・男性

子どもに対する親の虐待のニュースを耳にすると本当に残念な気持ちになります。そういうことが野田市では起こらないようにしてほしいです。自分も協力できることがあれば参加したいと思います。

30 歳代・男性

子どもの頃から教育の場で教えることが大事だと思います。

60 歳代・女性

日本では人権問題についての教育は遅れていると思う。中学校ぐらいで、専門の知識を持った先生に教えてもらえば良いと思います。

50 歳代・女性

人権は考えれば考えるほど難しい。文字にすれば人間は生まれながらにして自由と平等の権利を持っていると言っても、大勢の個人同士同じ考えでは限らない。時には個人同士の考えの相違から確執の生じることもある。この考えの相違をどう調節していくか、お互いが、相手の心を思い図ってやることが大切だろうと思います。それには子どものうちから、“思いやりの心”を植えつけることが肝要と思っています。家庭の親のしつけ、学校における“思いやり”の教育が肝要と思っていますので、施策の中に取り入れてくださるようお願いします。

80 歳以上・男性

若い世代（特に子どもたち）に対して、これから社会に出ていく上で、しっかり人権というものを理解させ、今よりもっと住みよい社会を築き上げることができるよう、まず、家庭で話したり、教えたりすることが必須だと思います。なお、そのためには、親世代より上の中・高齢の方々の理解が最も不可欠だと思います!!

30 歳代・女性

基本的人権に対する認識が、まだまだ低いのが現状であると思う。義務教育中にもっと子どもたちへ働きかけてほしい。

50 歳代・女性

家庭や学校など、子どもたちに対する人権教育は必要。他者を思いやる心を育てていく。

30 歳代・女性

小学生時代から教育するのが最も効果的かと存じます。弱者に手を差し伸べる心の余裕が大切。

80 歳以上・女性

今の20代より下の若い世代、子どもは人権というよりも人と触れ合う機会があまりにも少ない。

“知らない人とは話すな”と勉強させられてきた子どもたちが大人になって、コミュニケーション不足と言われるのは当たり前。道徳等の授業で“知らない人と話す”ことを増やし、慣れていかなないと自分の身内、知り合い以外の人には知らない、こわい、分かり合えない。結果、いじめにつながってくと思う。何を言ったら人が傷つくのかも分からない。そんな人が増え続ける。人権学習は人と触れ合う、話し合う、まずはそこから。

20 歳代・女性

自由記述（障がい者の人権）

ボランティアとして社会的弱者の方々を含む支援に参加しています。その中で、人権に関わると思われる悩みを耳にする機会がたくさんあります。障がい者（特に精神障がい）に対しては、経済的支援はあってもその方たちを支える仕組みが確立されておらず、孤立している方が多くいらっしゃいます。野田は田舎的な傾向が強いのか一般の方の理解も低く、それが差別的態度につながるのではと思えてなりません。

人はみな「幸せに生きる権利がある」ことを実感として理解し、行動する社会ならいじめも差別もなくなるはずです。人のことなど興味がないという無関心も多い気がします。社会全体が平等の意識を持つよう、自治体として前向きに検討されることを望みます。

50 歳代・女性

障がいのある方への差別について、教育に問題があると思う。ごく小さい時から世の中には色々な障がいがある方がいるということを知るべきだと思う。そうすればそれが当たり前になり、手助けすることも当たり前になる。

50 歳代・女性

私は障がい者です。周りの理解がないと思います。もっと若い人たちに理解してもらうために活動が増えたら良いと思います。

30 歳代・男性

障がいのある方でも、人にお世話になる場合があるのですから、謙虚な気持ちで、お世話してくださる方に感謝の気持ちも持っていただきたい時も見かけます。

70 歳代・女性

障がい者の親であり、視覚障がい者のガイドヘルプをしている私にとって身近な人権を守るには、自己中心的な人々への啓発と他人に対する思いやりの心を慈しむことができる心を育てることが一番であり、自分も他人も同じように大切に思える心を小さい頃から育てて、大人になって気付くことができる環境を整えて欲しい。

60 歳代・女性

自由記述（同和問題〔部落差別問題〕）

私は学生時代まで「部落」を知りませんでした。両親もそういう話をしたことはありませんでした。社会に出て初めて知りました。良心的な顔をして講演会を聞いてきた人々が悪く言っているのを聞いたことがあります。子どもの頃はほとんどそういうことは話題にならないと思いますので、周りの大人が気を付けるべきだと思います。中学生の頃に、間違いのないよう教育すべきだと思います。

60 歳代・女性

とても難しい問題だと思います。お互いにそのつもりがなくても、傷つけてしまったり、傷ついたり。部落差別などは、育った環境で代々その考えが受け継がれるのでは、と思います。ありがたいことに私の親はそういう差別こそ恥ずかしいことだと教えてくれたので、あまり考えずに過ごしてきました。

60 歳代・女性

部落差別とは無縁な地域で育ったため、野田に引っ越すまで知りませんでした。いまだに存在するものだと知り、驚きました。関西に引っ越した友人は、職場で部落差別についての研修があり、やはりそれまで意識したことがなかったと言っていました。難しいことですが、「差別をなくそう」と訴えることで、そんな差別があったのかと、よけい意識して差別につながることもあります。部落差別については、家庭内での親から子への伝聞の影響がより大きいような気がします。

40 歳代・女性

今の人達は（若者）同和地区のあることを知らない人が多いと思います。結婚するにしても、お互い好き同士で結ばれます。騒がず言わずで、いつかは消えて行くのではないのでしょうか。

70 歳代・女性

同和という言葉がありますが、昔のことで今は同じだから終わっても良いと思う。伝え続けるかぎり同和は終わらないのではないのでしょうか。

60 歳代・女性

自由記述（外国人の人権問題）

外国人とのコミュニケーションの場を作り、民間レベルのお付き合いができると良いと思います。

60 歳代・女性

国民への人権問題は国家の義務。海外の方への人権問題は個人レベルの道德の問題。国民と海外の人との問題を一緒くたにするのは危険だと思う。

40 歳代・女性

在日の方々に対する差別意識が根強く、当たり前のように日常会話の中に言葉として残っていることは残念に思っています。

40 歳代・男性

自由記述（インターネット等の人権問題）

インターネットが主流になっている今、ボタン一つで簡単にサイトにつないだり、メールでのやり取りができってしまうことが、人を変えてしまう世の中になっていると思います。仲間はすれや、殺人、簡単に危ないものが買うことができてしまう。

人の痛みが分かる世の中になってくれたら、色々な面で、差別や嫌がらせなどが減っていくと思います。職場環境も見直してほしいです。

30 歳代・女性

子どもたちがインターネットによる人権侵害に遭うのでは？と心配しています。私自身では、これから年をとり高齢者となった時、どのような問題があるのか考えておかねばと思いました。

30 歳代・女性

インターネットの侵害を防ぐ件で法規制を強化することが現在一番大切である。人権を守るために、次に教育です。

70 歳代・男性

自由記述（犯罪被害者等の人権問題）

人権には自由権があるが自由権とはルールの中の（ルールを守って）自由権であると思う。人間が持っている人権もルール（モラル）で成り立っていることを忘れたくない事実である。犯罪者にも人権があるが被害者や家族にも大切な人権がある。犯罪者にはその被害者や家族の人権を犯す権利はないと思う。それなりの差別は仕方ないと思う。

40 歳代・男性

犯罪者について、特に重要犯罪者（殺人、強盗、レイプ等）の再犯を防ぐにあたり、人権という名の下に出所時期や所在が明らかにされず、結局、同じ罪が繰り返されるという話を聞きます。法的解釈も含めて法整備が必要だと思います。

50 歳代・男性

自由記述（その他人権全般）

以前、パートで勤務した会社ですが、同じ立場のパートの人から「使えないヤツ。」と言われたことがあり、悲しい思いをしました。自分にも常に言い聞かせているのですが、他人の誹謗、中傷は、絶対しないようにすべきです。自分をとりまく人たちの大切さ、仲間意識をもっと高め、大切にしていきたいと思います。今は、生活にも時間にもゆとりのない私ですが、可能な限りイベントにも参加したいと思います。

50 歳代・女性

1. 息の長い教育啓蒙 2. 相互扶助、精神向上の啓蒙指導 3. もし「その人」が自分であつたら・・・思いやり。「お・も・て・な・し」精神の助長教育。具体的現物的な教育でなく、正しい心、精神向上が必要でしょう。

70 歳代・男性

自分の人生を振り返ってみても、権利と義務について正しく教育してほしかったと思います。特に、義務については勤労、納税、社会保障等について、小さい時から正しく理解すべきだと思います。果たすべき義務を正しく理解することは、人権を守ることに大いに土台になると思っています。

60 歳代・男性

差別することは、誰にでもあることだと思います。ただ、人それぞれの個性だと認識していく教育をしたらいいのでは？相談できる相手がいれば大丈夫だと思います。

30 歳代・女性

思いやりをもって人と接することで良い方向に進むのではないかと思います。

50 歳代・女性

相手の気持ちになって行動する。

60 歳代・男性

人権問題を解消するには、高度な教育と文化が必要と考える。行政、学校、マスコミも高度な教育と文化に力を入れてほしい。

50 歳代・男性

人権に関する啓発や教育は、話が重くなりがちで、踏み込めない。もっと気軽に人権について話のできる環境作りからはじめるべきだと思います。

70 歳代・女性

人権についての正しい知識を身につけた教育者が乏しいです。教師の質の低下を嘆いています。教育（小中高）、教育者の育成に励み、成長過程の子どもを教育しなければならないと思います。

70 歳代・女性

人権のことを気にしていれば、学校のいじめ、社会の犯罪や地域のトラブルが少なくなると思います。

70 歳代・女性

自分の周りに人権問題に悩んでいる人がいないので、良かったなあと改めて思います。でも、新聞、テレビなどでは、毎日のように問題があるので、誰もが住みやすい世の中になってほしいと思います。

60 歳代・女性

人権問題は、いろいろな人達がいて意見もいろいろあると思うので、とても難しい問題だと思います。

しかし、行政で常に相談にのってくれたり、支援体制があれば、市民としては安心感があると思います。相談できない状況が一番最悪だと思います。

40 歳代・男性

なかなか難しいことですが、人と人の出会いを大切にし、思いやり、感謝する心が大事だと思います。

50 歳代・女性

人権は難しい問題です。自分自身で強く生きないと無理かもしれない。他の場所で暮らすのも一つの方法。役所の人権に関する部署がある限り、日本の人権問題は良くなっていくと思います。

60 歳代・男性

職場内一つをあげても温度差が見られる。法律・制度と現実の差が大き過ぎて権利が強くて出る気がします。「自分が子育てをしていた時は休めなかったのに」「時代が違う」権利ばかりが強くなると周囲は困惑するのが現状だと思います。

40 歳代・女性

無意識での人権侵害、差別がなくなるように知識の普及が必要。具体的事例を伝えて気付かせてもらいたい。

60 歳代・男性

身勝手、他人の迷惑を考えない人が多い。啓発活動、人権教育、徳育が必要。

70 歳代・男性

弱者に対して安心安全な生活ができるような政策をしてほしいと思います。

60 歳代・女性

相手を思いやる気持ちが大切。古くから自分がやられて嫌なことは他人にしない。頭で分かっている場面によっては…。

40 歳代・男性

労働者の人権がいまだ弱い傾向にあること。例えば、パワーハラスメントや非正規労働者困難は、個人の努力だけでどうにかなるものではないが、それを解決するアプローチがほぼ存在しないこと。大学の非正規講師、心理相談職など高度な知識、技術を要する職業であっても、収入の安定が望めないこと。しかも、社会的に必要な存在にも関わらず、なる人が生活の安定を犠牲にしなければならない現状。ヨーロッパの一部の国（確かオランダだと思う）はパート労働者が正規労働者と同じ対価になるよう法で定められているが、それによる人権問題への成果は大きい。

60 歳代・女性

1. 人間は生まれながらに平等で差別があってはならない。
2. 自己主張する前に相手方のこと（立場等）をまず考えることが大切だ。

80 歳以上・男性

講演会に参加する方は、元から興味があったりそのような情報は得ているので、そうでない普通の一般人に目に付くようにと考えて PR するべき。子どもなら学校教育に取り入れることはもちろん、嗜好きで話を勝手に広める暇な世代にもきちんとした情報を流すことが一番大事だと思う。

40 歳代・女性

「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」の言葉通り、小さい頃から子どもたちには自分の人権も他人の人権も大切なことを徹底して教えなければならないと思います。しかし、同時に人間の能力や質の違いも教えなければならないと思います。自分よりも能力の高い人、考えの深い人、人格が優れている人を尊敬し謙虚な意識を持つことも教えなければならないと思います。そこで人が100人いれば100の多様性があり、100の身体、100の精神、100の生き方があることを体験することが大事で、その結果として人権意識が育つものと思います。

60 歳代・男性

線引きが難しい問題なので冷静に考え、皆が理解できるようにすることが大事なのではないでしょうか。昨今、人権を盾に行き過ぎている風潮にあきれ果てています。一方で不当な扱いを受けている人は泣き寝入りさせられているのでは、と。極端なことにならない世の中を希望しています。

30 歳代・女性

普段あまり人権について深く考えたことが無かったが、このアンケートに答えながら身近な人、さまざまなニュース情報を思い出していました。やはり差別が起きるのは間違った考えや情報、噂話等からも助長するものだと思います。正しい知識（人としての権利、病気や障がいに対する正しい理解のできる情報、外国人への理解）をみんなで学び、さまざまな問題を抱えた人が、学校や職場、社会で隣にいるのが普通の国になれるように、さまざまな取組が必要だと思いました。

30 歳代・女性

大人が子どもに教えられるほどの知識を持っていない。大人が正しい知識を得る機会を作るべきと思う。そういった場所に参加することで自分自身にもプラスになるという意識を持たせる工夫をすることも必要だと思う。

40 歳代・女性

地域の人々が集まる機会が少なくなっているため、まずは地域の人々が集まれる場所、機会を作る。

60 歳代・男性

メディアでは犯罪等悪いことが多く取り上げられている。良い出来事等から人権を守る取組を促せたら良いと思う。（理想ですが）

30 歳代・女性

人権はケースバイケースと思うことがあります。「相手による」ということもあると思いますし、相手の立場に立って考えてみることも大切だとも思います。ひとくくりにはできない問題でとてもデリケートだと思っています。

50 歳代・女性

各人が人権に関する正しい知識と誤った観念にとらわれないこと。

70 歳代・男性

講演会や市報でアピールするのも大切だと思いますが、毎回限られた人物（市民）ばかりになってしまうのではないかと思います。勝手な意見ながら産業祭や文化会館等で行われるイベントはとても楽しく、毎年行ってます。そういったイベントの中に人権問題等を取り入れていただき、よりたくさんの市民に聞いていただくことも大切かと思いました。

30 歳代・男性

学校や家庭で、他人を思いやる心の大切さを教えることで、人権問題は良くなると思います。たくさんの課題がありそれを解決するには難しいようですが、全てシンプルに考えると思いやりが大事なのだと思います。まずは自分がまわりの人に優しくします。そして子どもたちに教育していくことで、人権を尊重する社会になっていくと信じています。

30 歳代・女性

学校、職場等でのPR周知不足を感じる。

60 歳代・男性

差別とは、人間の優越感が始まり？と考えてしまうと、いつも行き詰まってしまい、無くすことは無理ではないか。個々の人間性によるのではとも思い、心豊かな生活が送れることを望みます。

50 歳代・女性

最近では、個人の権利や主張が優先されるあまり、他人への配慮や気遣いが疎かになっている。他人への興味のなさや、差別や基本的人権の侵害につながってしまうのではないだろうか。幼少の頃から、家族以外の人と関わることでできる安全な地域が望まれる。

40 歳代・女性

いろいろと考えて記入してみた結果、読み返してみると、気付かぬうちに自分はストレスを受けていることに気付かされた。差別と思われることをされたり、言われたりしたことは何度か経験してきましたが、その都度、気にしない、考え過ぎない等、そんなつもりはありませんでしたが、まあ、実際、黙って我慢してきたということになります。我慢してばかりではダメですね。差別的なこと、人権侵害につながることをするのも、されるのも人間ですから、一人一人が相手を思う気持ち、大切ですよね。

40 歳代・男性

「自分がされていやなことはしない」といった基本的なことを忘れないようにしたいと思います。

50 歳代・女性

自分の権利だけでなく他人の権利も。

60 歳代・女性

人権ということは、基本から知ることから始まると思います。

60 歳代・男性

人権に関することとは違うかもしれませんが、自分のことしか考えていないように思います。もう少し他人のことを考え、もう少し思いやりがほしいように感じます。

70 歳代・女性

身近に発生しているとは思いますが、具体的な事例として捉えている事象がありません。また、気が付いてないかもしれませんし。そのこと自体が人権侵害に当たるということが理解が浅く、知らぬ間に私も行い、行われているかもしれません。外国のように、訴訟社会、個人優先的な社会になってもいけません。教育と地域社会のネットワーク「村社会」の創造が大事かとも思います。

50 歳代・男性

権利は義務を遂行して生まれるもの。昨今、権利ばかり主張する人が多すぎる。

60 歳代・男性

人権擁護の充実は大変重要な事項であることは認識しているが、それに乗じた過剰な権利主張を当然のこととして行っていることも見受けられる。バランスの取れた政策の実行を期待します。

70 歳代・男性

人権差別だと特に考えたことがなかったので、言われてみれば、ちょっとしたことで知らない間に差別していたかもしれない。常識を当たり前にできれば、そして他人のことを大切に思うことができれば、差別も少しずつでも無くなるのではと思います。

50 歳代・女性

経済的、法的な差別に対する優遇的な制度が強くなりすぎると一般人から逆に疎まれ、さらに差別を内生化させ深みに入ることになると思う。バランスが大切である。

50 歳代・男性

人権を考える前に、大人一人一人が一般常識やモラルなどの低下があり、その上での人権だと思います。根本的に教育や社会活動を考えるべきだと思います。

40 歳代・女性

人権に市が配慮し、アンケート等をしていることはとても良いことだと思います。もっと皆が人権について考えることが増えればと思います。

50 歳代・女性

人権を訴えることにより、訴えられた方への逆差別や法律をねじ曲げる結果になる例が多々あると思う。自分の権利ばかりを主張しすぎて被害者意識の強すぎる人などは問題だと思う。

30 歳代・女性

人権問題は「仲良くしよう」で止まってしまっていてはいけないと思っています。「思いやり」や「優しさ」が引き起こす人権侵害「愛」が引き起こすことがどんなに多いことか。憲法の人権の正しい理解のための教育。自分の人権を守るための正しい知識を与えるための教育から目をそらしてはいけないと思います。嫌な情報を無くし悪いことを教えなければ人権侵害が無くなるという意見もありますが、それは知る権利を侵害し被害者から身を守る術を奪う行為だと思います。

40 歳代・女性

権利について、どのような問題があるのかを知ることが大前提だと思います。実際僕は、今まで人権について周りの人と語った記憶もないし、友達も「人権とか社会で習ったけどね、もう忘れた」くらいの意識レベルです。学生の僕の意見としては、教育の段階でどのような問題が起きているのか、できれば当事者も含めてしっかりと理解することが第一だと思います。あとそもそもさまざまな人権問題を解決するためには、まず人として一人前になるように教育していくしかない、人権以前の問題だと思います。

20 歳代・男性

人権といってもたくさんの事柄があって、自分の身の回りで知っているものもあれば、アンケートに答えてみて、こんなこともあるんだと知るものもあった。もっと多くの人にも知ってもらわなきゃだと思いました。知らない人権侵害に対しても深く考えることが無いと思いました。この町をもっと良い町にしていきたい。

20 歳代・女性

「人権」という言葉が、一人歩きしているように感じます。ネットワーク社会のこのご時世、より具体的に何がどう問題なのか、はっきりさせる必要があると思います。

20 歳代・女性

私が学生なので、学生の立場から申し上げたいと思います。人権を学校教育の中で改善していこうという方針がありましたら、実際に当事者にも協力していただいた方が良いと思います。私も学生時代に何度か人権に関する授業を受けたり、話を聞いたりしましたが、当事者がいた時といない時では印象の残り方がまるで違いました。当事者がいなくても人権問題を考える機会になったのは確かですが、当事者の言葉の方が重みを感じられました。後はなるべく子どもが小さい時に当事者との触れ合いの機会を作った方が良いと思います。私たちは成長するにつれて社会から学んだ、あるいは与えられた価値観で物事を考えます。また考える際にも論理的であることが求められます。

そのため、そういった価値観に縛られる前の子どもだからこそ、その感性に根付いてくれるものがあると思います。

20 歳代・男性